

孤独・孤立対策の重点計画の改定案に関する意見について

2022 年 12 月 15 日

一般社団法人 くらしサポート・ウィズ
理事長 吉中由紀

一般社団法人くらしサポート・ウィズは、家族や夫婦、消費者トラブル、金銭問題等くらし全般に対する無料の電話相談「くらしの相談ダイヤル」を中心に、居住支援事業や若者支援事業などを通して、様々な困難を抱えた人達へ寄り添った取り組みを行っています。相談の中には孤独・孤立を抱えて方も多く、相談員と共に日々対応をしております。

この度の、孤独・孤立対策の重点計画の改定案に関する意見はより包括的な対策計画案となることを望み、以下の点について意見を表明します。

■意見

3. 孤独・孤立対策の基本方針

(3) 1 居場所の確保 (10 頁)

「効果的な運用を推進するものとし、これらに必要な方策を検討する。」とあるが、居場所は現段階では支援を必要としない人が、孤独・孤立の問題を抱える当事者になることを予防する効果が期待されている。また、居場所づくりは「支える人」「支えられる人」の垣根を越えて、地域の中で人と人との寄り添える生活の場づくりにつながっていく。そのような「居場所」に対して「効果的な運用」を追求するのではなく、「場」そのものの価値を大切にする視点が重要である。文中にあるとおり『「つながり」の場づくりそのものを施策として評価する』方向で推進を考えていただきたい。

(3) 4 地域における包括的支援体制の整備 (10 頁)

包括的支援体制の各分野に、福祉と保健、医療、雇用・就労、住まいに加えて「子育て」が加えられた。各分野の取り組みを有機的に連携させるために、住まいのセーフティネットの強化を含めたあり方の検討を積極的に行ってもらいたい。特に、各分野へ住まいのセーフティネットが届くよう住宅セーフティネット制度が今後改正される際も連携して取り組んでいただきたい。

■主旨

この度の、「孤独・孤立対策の重点計画の改定案」につきましては、基本的には賛成いたします。当法人は官民連携プラットフォームへの参画しておりますので、今後の計画実施に向けても積極的に協力をしていきたいと考えております。

以上